

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
国語	国語表現 (2年)	単位数：3単位 [標準単位：4単位]	年間	水田 薫
指導目標				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
スクーリング	全53回	面接指導：6回 講義：34回	教科書	大修館書店 国語表現
レポート	全9回	添削指導：9回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	水	ガイダンス		○	第1回(5/1)
2	4/19	金	言葉と表記①		○	
3	4/24	水	言葉と表記②		○	
4	4/25	木	整った文を書く①	○		
5	5/1	水	整った文を書く②		○	
6	5/10	金	整った文を書く③ (添削指導)			第2回(5/29)
7	5/15	水	相手に応じた言葉遣い①		○	
8	5/17	金	相手に応じた言葉遣い②		○	
9	5/22	水	わかりやすい文を書く①		○	
10	5/24	金	わかりやすい文を書く②		○	
11	5/29	水	文のつながり方①		○	第3回(6/19)
12	5/31	金	文のつながり方② (添削指導)			
13	6/4	火	文のつながり方③		○	
14	6/7	金	自己紹介ゲーム①		○	
15	6/12	水	自己紹介ゲーム②		○	
16	6/14	金	言葉のストレッチ体操①		○	第4回(9/4)
17	6/19	水	言葉のストレッチ体操②		○	
18	6/21	金	言葉のストレッチ体操③ (添削指導)			
19	6/26	水	絵や写真を見て書く①		○	
20	6/28	金	期末試験			
21	8/28	水	絵や写真を見て書く②		○	第5回(9/27)
22	8/30	金	マイニュース記事を書こう①	○		
23	9/4	水	マイニュース記事を書こう②		○	
24	9/6	金	マイニュース記事を書こう③ (添削指導)			
25	9/18	水	小論文とは何か①		○	第5回(9/27)
26	9/20	金	小論文とは何か②		○	

27	9/25	水	小論文とは何か③		○	
28	9/27	金	反論を想定して書く①	○		
29	10/2	水	反論を想定して書く② (添削指導)			
30	10/4	金	反論を想定して書く③		○	第6回(10/25)
31	10/9	水	中間試験			
32	10/18	金	反論を想定して書く④		○	
33	10/23	水	文章を読み取って書く①	○		
34	10/25	金	文章を読み取って書く②		○	
35	10/30	水	文章を読み取って書く③ (添削指導)			第7回(11/22)
36	11/8	金	統計資料を読み取って書く①		○	
37	11/13	水	統計資料を読み取って書く②		○	
38	11/15	金	統計資料を読み取って書く③		○	
39	11/20	水	統計資料を読み取って書く④		○	
40	11/22	金	発想を広げて書く①	○		第8回(1/24)
41	11/27	水	発想を広げて書く② (添削指導)			
42	11/29	金	発想を広げて書く③		○	
43	12/4	水	期末試験			第9回(2/19)
44	1/10	金	レポートを書く①		○	
45	1/15	水	レポートを書く②		○	
46	1/24	金	レポートを書く③		○	
47	1/29	水	レポートを書く④ (添削指導)			
48	1/31	金	論文を書くために①	○		第9回(2/19)
49	2/5	水	論文を書くために②		○	
51	2/7	金	論文を書くために③		○	
51	2/19	水	論文を書くために④		○	
52	2/21	金	論文を書くために⑤ (添削指導)			
53	2/28	金	期末試験			

教科	科目		期間	担当者		
地理歴史	地理総合	単位数：3 単位 [標準単位：2 単位]	年間	榊原 利信		
指導目標						
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を迫り解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>						
<p>1. 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>3. 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>						
スクーリング	全 53 回	面接指導： 6 回 講義： 34 回	教科書	帝国書院 新地理総合		
レポート	全 9 回	添削指導： 9 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1 学期： 1 回 2 学期： 2 回 3 学期： 1 回	副教材	新詳高等地図		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	地図上の位置と時差①		○	第 1 回(5/7)
2	4/18	木	地図上の位置と時差②		○	
3	4/23	火	地図の役割と種類①		○	
4	4/25	木	地図の役割と種類②	○		
5	5/7	火	地図の役割と種類③		○	
6	5/9	木	現代世界の国家と領域①(添削指導)			第 2 回(5/28)
7	5/14	火	現代世界の国家と領域②		○	
8	5/16	木	グローバル化する世界①		○	
9	5/21	火	グローバル化する世界②		○	
10	5/23	木	生活文化の多様性		○	
11	5/28	火	世界の地形と人々の生活①	○		第 3 回(6/25)
12	5/30	木	世界の地形と人々の生活②(添削指導)			
13	6/4	火	世界の地形と人々の生活③		○	
14	6/11	火	世界の気候と人々の生活①		○	
15	6/13	木	世界の気候と人々の生活②		○	
16	6/18	火	世界の気候と人々の生活③		○	第 4 回(9/3)
17	6/20	木	世界の言語・宗教と人々の生活①	○		
18	6/25	火	世界の言語・宗教と人々の生活②		○	
19	6/27	木	世界の言語・宗教と人々の生活③(添削指導)			
20	6/28	金	一学期定期試験			

21	8/27	火	歴史的背景と人々の生活①		○	
22	8/29	木	歴史的背景と人々の生活②		○	
23	9/3	火	歴史的背景と人々の生活③		○	
24	9/5	木	世界の産業と人々の生活①(添削指導)			
25	9/10	火	世界の産業と人々の生活②		○	
26	9/12	木	世界の産業と人々の生活③		○	
27	9/17	火	複雑に絡み合う地球的課題		○	第5回(9/19)
28	9/19	木	地球環境問題①		○	
29	9/26	木	地球環境問題②(添削指導)			
30	10/1	火	地球環境問題③		○	
31	10/3	木	地球環境問題④		○	
32	10/15	火	二学期定期試験			
33	10/17	木	資源・エネルギー問題①		○	第6回(10/17)
34	10/22	火	資源・エネルギー問題②(添削指導)			
35	10/24	木	資源・エネルギー問題③		○	
36	10/29	火	人口問題①	○		
37	11/5	火	人口問題②		○	
38	11/7	木	人口問題③(添削指導)			
39	11/12	火	食糧問題①		○	第7回(11/5)
40	11/14	木	食糧問題②		○	
41	11/19	火	食糧問題③		○	
42	11/21	木	都市・居住問題①		○	
43	11/26	火	都市・居住問題②		○	
44	11/28	木	都市・居住問題③(添削指導)			
45	12/3	木	二学期定期試験			第8回(11/26)
46	1/9	木	日本の自然環境		○	
47	1/14	火	地震・津波と防災		○	
48	1/16	木	火山災害と防災		○	
49	1/21	火	気象災害と防災	○		
51	1/23	木	自然災害への備え		○	
51	1/28	火	生活圏の調査と地域の展望①	○		第9回(1/28)
52	1/30	木	生活圏の調査と地域の展望②(添削指導)			
53	2/4	火	三学期定期試験			

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I (2年)	単位数：3単位 [標準単位：3単位]	年間	小竹森 俊広

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
2. 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
3. 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

スクーリング	全 53 回	面接指導： 6 回 講義： 34 回	教科書	新高校の数学 I
レポート	全 9 回	添削指導： 9 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1 学期： 1 回 2 学期： 2 回 3 学期： 1 回	副教材	新課程 新高校の数学 I 対応 教科書学習ノート 数学 I
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	ガイダンス	○		第 1 回(5/9)
2	4/16	火	関数の考え方		○	
3	4/25	木	関数の値		○	
4	4/30	火	1 次関数		○	
5	5/9	木	1 次関数のグラフ		○	
6	5/16	木	2 次関数の軸と頂点 (添削指導)			
7	5/23	木	2 次関数 $y = ax^2$ のグラフ		○	第 2 回(6/11)
8	5/28	火	2 次関数 $y = ax^2 + q$ のグラフ		○	
9	5/30	木	2 次関数 $y = a(x - p)^2$ のグラフ		○	
10	6/4	火	2 次関数 $y = a(x - p)^2 + q$ のグラフ		○	
11	6/11	火	グラフの平行移動	○		
12	6/18	火	グラフのまとめ (添削指導)			
13	6/20	木	2 次関数の平方完成		○	第 3 回(8/29)
14	6/25	火	2 次関数 $y = x^2 - 2px$ のグラフ		○	
15	6/28	金	1 学期期末試験			
16	7/9	火	試験返却		○	
17	8/29	木	2 次関数 $y = x^2 + bx + c$ のグラフ		○	
18	9/3	火	2 次関数のグラフ (添削指導)			
19	9/5	木	2 次関数 $y = ax^2 + bx + c (a > 0)$ のグラフ		○	第 4 回(9/24)
20	9/17	火	2 次関数 $y = ax^2 + bx + c (a < 0)$ のグラフ		○	
21	9/19	木	2 次関数の最大値、最小値		○	
22	9/24	火	2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ の最大値、最小値		○	
23	10/1	火	2 次関数の最大値、最小値 (添削指導)			
24	10/8	火	2 学期中間試験			
25	10/15	火	試験返却		○	第 5 回(10/24)
26	10/17	木	定義域がある 2 次関数の最大値、最小値	○		

27	10/22	火	2次関数の利用①		○	
28	10/24	木	2次関数の利用①		○	
29	10/29	火	2次関数のまとめ (添削指導)			
30	10/31	木	グラフと2次方程式	○		第6回(11/14)
31	11/5	火	2次方程式の解き方		○	
32	11/7	木	2次方程式 (因数分解)		○	
33	11/12	火	2次方程式 (解の公式)		○	
34	11/14	木	2次関数のグラフと x 軸との共有点①		○	
35	11/19	火	2次関数のグラフと x 軸との共有点② (添削指導)			
36	11/21	木	グラフと2次不等式 (共有点2個)		○	第7回(1/9)
37	11/26	火	グラフと2次不等式 (共有点1個)		○	
38	11/28	木	グラフと2次不等式 (共有点なし)		○	
39	12/3	火	2学期期末試験			
40	12/12	木	試験返却		○	
41	1/9	木	グラフと2次方程式、2次不等式 (添削指導)			第8回(1/30)
42	1/16	木	データの並び替え	○		
43	1/21	火	度数分布表		○	
44	1/23	木	ヒストグラム		○	
45	1/28	火	データの代表値①		○	
46	1/30	木	データの代表値②		○	
47	2/4	火	データの整理 (添削指導)			第9回(2/18)
48	2/6	木	四分位数	○		
49	2/13	木	箱ひげ図		○	
51	2/18	火	分散・標準偏差		○	
51	2/20	木	データの相関 (添削指導)			
52	2/28	火	学年末試験			
53	3/11	火	試験返却		○	

教科	科目		期間	担当者
理科	生物基礎	単位数：3単位 [標準単位：2単位]	年間	太田 喜美子
指導目標				
自然の事物や現象を科学的に探究するために、次の項目にしたがって必要な見方や考え方の向上を目指す。				
1. 自然現象を通して生物とそれを取り巻く環境を中心に、生物のもつ多様性や共通性について理解させる。				
2. 日常生活との関連を図りながら生命現象への関心を高め、実験映像等で確認しながら目的意識をもって観察し、生物学を探究する能力と態度を身につけさせる。				
3. 1年時に学んだ「科学と人間生活」からの継続性を考慮しながら、生物と自然についてそれらの形成過程を学習するとともに、両者の関連性を通して理解させる。				
スクーリング	全53回	面接指導：24回 講義：16回	教科書	新編 生物基礎
レポート	全9回	添削指導：9回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス 生物と私たちの暮らし	○		第1回(5/7)
2	4/18	木	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性	○		
3	4/23	火	2 生物の共通性とその由来①		○	
4	4/25	木	2 生物の共通性とその由来②	○		
5	5/7	火	3 生物に共通する構造－細胞①		○	
6	5/9	木	3 生物に共通する構造－細胞② [添削指導]			
7	5/14	火	第2節 エネルギーと代謝 1 生命活動とエネルギー①		○	第2回(5/30)
8	5/16	木	1 生命活動とエネルギー②	○		
9	5/21	火	第3節 呼吸と光合成 1 呼吸①		○	
10	5/23	木	1 呼吸② 2 光合成①	○		
11	5/28	火	2 光合成② 3 エネルギーの流れ	○		
12	5/30	木	4 酵素の性質①		○	
13	6/4	火	4 酵素の性質② [添削指導]			第3回(6/25)
14	6/11	火	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝情報を含む物質－DNA		○	
15	6/13	木	2 DNAの構造①		○	
16	6/18	火	2 DNAの構造②	○		
17	6/20	木	第2節 遺伝情報の複製と分配 1 細胞周期とDNA	○		
18	6/25	火	2 遺伝情報の複製 3 遺伝情報の分配	○		
19	6/27	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			第4回(9/12)
20	6/28	金	1学期 期末試験			
21	8/27	火	第3節 遺伝情報の発現 1 遺伝情報とタンパク質		○	

22	8/29	木	2 タンパク質の合成①		○	
23	9/3	火	2 タンパク質の合成②	○		
24	9/5	木	2 タンパク質の合成③		○	
25	9/10	火	3 細胞の分化と遺伝情報	○		
26	9/12	木	4 遺伝子とゲノム	○		
27	9/17	火	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内環境での遺伝情報と調節 1 体内での情報伝達 [添削指導]			第5回(10/1)
28	9/19	木	2 神経系による情報の伝達と調節①		○	
29	9/26	木	3 内分泌系による情報の伝達と調節①	○		
30	10/1	火	3 内分泌系による情報の伝達と調節②	○		
31	10/3	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			第6回(10/29)
32	10/8	火	2学期 中間試験			
33	10/15	火	第2節 体内環境の維持のしくみ 1 体内環境の維持①		○	
34	10/17	木	1 体内環境の維持②	○		
35	10/22	火	2 血糖濃度の調節のしくみ	○		
36	10/24	木	3 血液の循環を維持するしくみ①		○	
37	10/29	火	3 血液の循環を維持するしくみ②	○		
38	11/5	火	第4章 生物の多様性と生態系 第2節 植生の分布とバイオーム 1 植生とバイオーム [添削指導]			第7回(11/26)
39	11/7	木	2 世界のバイオーム	○		
40	11/12	火	3 日本のバイオーム	○		
41	11/14	木	第3節 生態系と生物の多様性 1 生態系の成り立ち①		○	
42	11/19	火	1 生態系の成り立ち②	○		
43	11/21	木	2 生態系における種多様性		○	
44	11/26	火	3 生態系における生物どうしのつながり	○		
45	11/28	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			第8回(1/16)
46	12/3	火	2学期 期末試験			
47	1/9	木	第4節 生態系のバランスと保全 1 生態系のバランス①	○		
48	1/16	木	1 生態系のバランス②	○		
49	1/23	木	2 人間生活と生態系 [添削指導]			第9回(2/6)
51	1/30	木	3 生態系の保全①		○	
51	2/6	木	3 生態系の保全②	○		
52	2/20	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			
53	2/28	金	3学期 学年末試験			

教科	科目		期間	担当者		
保健体育	体育 (2年)	単位数：2単位 [標準単位：7単位]	年間	伊藤 和崇		
指導目標						
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>1. 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>2. 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて 思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>3. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>						
スクーリング	全35回	面接指導：20回 講義：9回	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
レポート	全3回	添削指導：3回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：1回 3学期：1回	副教材	アクティブスポーツ2023 (大修館)		
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	ガイダンス		○	第1回(6/13)
2	4/18	木	体ほぐしの運動①	○		
3	4/25	木	体ほぐしの運動②	○		
4	5/9	木	走り高跳び①	○		
5	5/16	木	走り幅跳び②	○		
6	5/23	木	走り幅跳び③		○	
7	5/30	木	ティーボール①	○		
8	6/13	木	ティーボール②	○		
9	6/20	木	ティーボール③ (添削指導)			
10	6/27	木	実技試験	○		
11	7/4	木	期末試験			第2回(11/14)
12	7/9	火	試験返却		○	
13	8/29	木	マット運動①		○	
14	9/5	木	マット運動②	○		
15	9/12	木	マット運動③	○		
16	9/17	木	跳び箱①	○		
17	9/26	木	跳び箱②		○	
18	10/3	木	ダンス①	○		
19	10/17	木	ダンス②	○		
20	10/24	木	ダンス③	○		
21	11/7	木	ダンス④		○	
22	11/14	木	バスケットボール①	○		
23	11/21	木	バスケットボール② (添削指導)			
24	11/28	木	実技試験	○		
25	12/5	木	期末試験			

26	12/12	木	試験返却		○	
27	1/9	木	ハンドボール①		○	第3回(2/6)
28	1/16	木	ハンドボール②	○		
29	1/23	木	ハンドボール③	○		
30	1/30	木	ハンドボール④	○		
31	2/6	木	テニスボール①	○		
32	2/13	木	テニスボール② (添削指導)			
33	2/20	木	実技試験	○		
34	3/6	木	期末試験			
35	3/11	火	試験返却		○	

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教科	科目		期間	担当者
保健体育	保健 (2年)	単位数：1単位 [標準単位：2単位]	年間	伊藤 和崇
指導目標				
<p>保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資 質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>1. 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>2. 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>3. 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを 目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>				
スクーリング	全35回	面接指導：3回 講義：26回	教科書	現代高等保健体育 (大修館)
レポート	全3回	添削指導：3回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：1回 3学期：1回	副教材	配布プリントなど
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	ガイダンス		○	第1回(6/20)
2	4/18	木	ライフステージと健康		○	
3	4/25	木	思春期と健康		○	
4	5/9	木	性意識と性行動の選択		○	
5	5/16	木	妊娠・出産と健康①		○	
6	5/23	木	妊娠・出産と健康②		○	
7	5/30	木	避妊法と人工妊娠中絶①		○	
8	6/13	木	避妊法と人工妊娠中絶②	○		
9	6/20	木	結婚生活と健康		○	
10	6/27	木	レポート添削指導			
11	7/4	木	期末試験			第2回(11/21)
12	7/9	火	試験返却		○	
13	8/29	木	中高年基と健康		○	
14	9/5	木	働くことと健康①		○	
15	9/12	木	働くことと健康②		○	
16	9/17	木	労働災害と健康		○	
17	9/26	木	健康的な職業生活		○	
18	10/3	木	大気汚染と健康		○	
19	10/17	木	水質汚濁、土壌汚染と健康		○	
20	10/24	木	環境と健康にかかわる対策		○	
21	11/7	木	ごみの処理と上下水道の整備①		○	
22	11/14	木	ごみの処理と上下水道の整備②	○		
23	11/21	木	食品の安全性		○	
24	11/28	木	レポート添削指導			
25	12/5	木	期末試験			第2回(11/21)
26	12/12	木	試験返却		○	

27	1/9	木	食品衛生にかかわる活動		○	第3回(2/13)
28	1/16	木	保健サービスとその活用		○	
29	1/23	木	医療サービスとその活用		○	
30	1/30	木	医薬品の制度とその活用		○	
31	2/6	木	さまざまな保健活動や社会的対策		○	
32	2/13	木	健康に関する環境づくりと社会参加	○		
33	2/20	木	レポート添削指導			
34	3/6	木	期末試験			
35	3/11	火	テスト返却		○	

教科	科目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ（2年）	単位数：3単位 [標準単位：3単位]	年間	榎本 悠
指導目標				
<p>外国語科目の目標として外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やりとり]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の言語活動を通して、情報や考えを的確に理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成が学習の目標とします。「聞くこと」でも「読むことでも」言語活動を通して外国語を学ぼうとする気持ちや知識や外国語の文化への関心を高めていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 平易な英語を聞き取り、その応答ができること。 平易な英語を正しい発音、イントネーションで発音できること。 平易な英文を読み、内容を理解できること。 平易な英語を使って表現できること。 				
スクーリング	全 53 回	面接指導：24回 講義：16回	教科書	COMET English Communication I
レポート	全 9 回	添削指導：9回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1 学期：1回 2 学期：2回 3 学期：1回	副教材	旺文社 グリーン・プレップイングリッシュ 自校作成の PP 単語・熟語 TARGET
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 【SDGs】①		○	第 1 回(5/7)
2	4/18	木	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 【SDGs】②	○		
3	4/23	火	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 【SDGs】③	○		
4	4/25	木	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 【SDGs】④	○		
5	5/7	火	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 【SDGs】⑤		○	
6	5/9	木	文法のまとめ 動名詞① [添削指導 1]			第 2 回(5/28)
7	5/14	火	文法のまとめ 動名詞②	○		
8	5/16	木	文法のまとめ 動名詞③	○		
9	5/21	火	リスニング (内容理解)		○	
10	5/23	木	Activity T-shirts for Our Class!① [言語活動]	○		
11	5/28	火	Activity T-shirts for Our Class!② [言語活動] 発表	○		
12	5/30	木	リスニング (ディクテーション) [添削指導 2]			第 3 回(6/20)
13	6/4	火	Lesson6 Convenience Stores: Keys to Their Success①		○	
14	6/11	火	Lesson6 Convenience Stores: Keys to Their Success②	○		
15	6/13	木	Lesson6 Convenience Stores: Keys to Their Success③	○		
16	6/18	火	Lesson6 Convenience Stores: Keys to Their Success④	○		
17	6/20	木	Lesson6 Convenience Stores: Keys to Their Success⑤	○		

18	6/25	火	文法のまとめ 接続詞(that 節)①	[添削指導3]			
19	6/27	火	文法のまとめ 接続詞(that 節)②			○	第4回(9/3)
20	6/28	木	1学期定期試験(期末)				
21	8/27	火	Lesson7 High School Aquarium 【SDGs】 ①			○	
22	8/29	木	Lesson7 High School Aquarium 【SDGs】 ②		○		
23	9/3	火	Lesson7 High School Aquarium 【SDGs】 ③		○		
24	9/17	火	Lesson7 High School Aquarium 【SDGs】 ④	[添削指導4]			第5回(10/8)
25	9/20	木	Lesson7 High School Aquarium 【SDGs】 ⑤			○	
26	9/26	木	文法のまとめ 現在完了形①		○		
27	10/1	火	文法のまとめ 現在完了形②		○		
28	10/8	火	リスニング(内容理解)				
29	10/17	木	Lesson8 Smart Farming 【SDGs】 ①	[添削指導5]		○	第6回(11/7)
30	10/22	火	Lesson8 Smart Farming 【SDGs】 ②				
31	10/24	木	Lesson8 Smart Farming 【SDGs】 ③		○		
32	10/29	火	Lesson8 Smart Farming 【SDGs】 ④		○		
33	11/5	火	Lesson8 Smart Farming 【SDGs】 ⑤		○		
34	11/7	木	文法まとめ 受け身①			○	第7回(12/3)
35	11/12	火	文法まとめ 受け身②	[添削指導6]			
36	11/14	木	リスニング(内容理解)			○	
37	11/19	火	Activity Express It! [言語活動] ①		○		
38	11/26	火	Activity Express It! [言語活動] ②			○	
39	11/28	木	Activity Express It! [言語活動] 発表		○		第8回(1/28)
40	12/3	火	2学期定期試験(期末)				
41	1/9	木	Lesson9 Food Waste 【SDGs】 ①	[添削指導7]			
42	1/14	火	Lesson9 Food Waste 【SDGs】 ②			○	
43	1/16	木	Lesson9 Food Waste 【SDGs】 ③		○		
44	1/21	火	Lesson9 Food Waste 【SDGs】 ④		○		第9回(2/25)
45	1/23	木	文法まとめ 比較①			○	
46	1/28	火	文法まとめ 比較② / リスニング		○		
47	1/30	木	Lesson10 William and His Windmill 【SDGs】 ①	[添削指導8]			
48	2/4	火	Lesson10 William and His Windmill 【SDGs】 ②			○	
49	2/13	木	Lesson10 William and His Windmill 【SDGs】 ③			○	第9回(2/25)
51	2/18	火	Lesson10 William and His Windmill 【SDGs】 ④		○		
51	2/20	木	文法まとめ 関係代名詞①		○		
52	2/25	火	文法まとめ 関係代名詞② / リスニング	[添削指導9]			
53	2/28	金	3学期定期試験(学年末)				

教科		科目		期間	担当者	
情報	情報 I	単位数：3 単位 [標準単位：2 単位]	年間	押味 和也		
指導目標						
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 						
スクーリング	全 53 回	面接指導：12 回 講義：31 回	教科書	実教出版 図説 情報 I		
レポート	全 6 回	添削指導：6 回 その他：0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1 学期：1 回 2 学期：2 回 3 学期：1 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	序章①情報と情報社会の特徴、ガイダンス		○	第 1 回(5/9)
2	4/18	木	②情報化の進展と情報技術		○	
3	4/23	火	③情報社会における個人の責任		○	
4	4/25	木	1 章 1 節①問題解決の手順		○	
5	5/7	火	②情報の収集と整理		○	
6	5/9	木	③情報の分析	○		
7	5/14	火	2 節①情報の管理と保護 (添削指導)			第 2 回(5/30)
8	5/16	木	②知的財産権と産業財産権		○	
9	5/21	火	③著作権	○		
10	5/23	木	3 節①認証とパスワード		○	
11	5/28	火	②情報の暗号化		○	
12	5/30	木	③コンピュータウイルスと対策	○		
13	6/4	火	2 章 1 節①メディアの機能と特性 (添削指導)			第 3 回(6/25)
14	6/11	火	②メディアリテラシー	○		
15	6/13	木	2 節①効果的なコミュニケーション		○	
16	6/18	火	②インターネット上のコミュニケーション		○	
17	6/20	木	3 節①情報デザインの考え方		○	
18	6/25	火	②表現の工夫	○		
19	6/27	木	4 節①コンテンツ設計 (添削指導)			第 4 回(10/1)
20	6/28	金	期末試験			
21	7/9	火	試験返却		○	
22	8/27	火	②スライド制作と発表		○	
23	8/29	木	3 章 1 節①デジタル表現の特徴		○	
24	9/3	火	②2 進数と情報量	○		
25	9/5	木	2 節①数値の表現		○	

26	9/17	火	②文字のデジタル表現		○	
27	9/19	木	③音の表現		○	
28	9/26	木	④画像の表現		○	
29	10/1	火	⑤動画の表現とファイル形式	○		
30	10/3	木	3節①さまざまな情報機器 (添削指導)			
31	10/8	火	中間試験			
32	10/15	火	試験返却		○	
33	10/17	木	②ハードウェアとソフトウェア		○	第5回(11/12)
34	10/22	火	4章1節①アルゴリズム	○		
35	10/24	木	②アルゴリズムの基本構造		○	
36	10/29	火	2節①簡単なプログラムの作成	○		
37	11/5	火	②プログラムと変数		○	
38	11/7	木	3節①配列とリスト		○	
39	11/12	火	②関数	○		
40	11/14	木	5章1節①モデル化の基礎 (添削指導)			第6回(1/21)
41	11/19	火	②モデル化 (図的モデル)		○	
42	11/21	木	2節①シミュレーションの基礎		○	
43	11/26	火	②シミュレーション (確定的モデル)		○	
44	11/28	木	③シミュレーション (確率的モデル)		○	
45	12/3	火	期末試験			
46	12/12	木	試験返却		○	
47	1/14	火	3節①データの収集		○	
48	1/21	火	②データの分析	○		
49	2/4	火	6章1節ネットワークの仕組み (添削指導)			
51	2/18	火	2節情報システムとサービス		○	
51	2/25	火	3節情報セキュリティ	○		
52	2/28	金	期末試験			
53	3/11	火	試験返却		○	

教科	科目		期間	担当者
商業	簿記 (2年)	単位数：4単位 [標準単位：8単位]	年間	山口 大輔
指導目標				
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				
(2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。				
(3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。				
スクーリング	全70回	面接指導：16回 講義：42回	教科書	実教出版 高校簿記
レポート	全8回	添削指導：8回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	【ガイダンス】(授業の進め方、評価、検定など)		○	第1回(5/21)
2	4/17	水	【基礎簿記範囲】勘定科目、計算公式、取引8要素、仕訳の仕方(復習)	○		
3	4/23	火	【3級範囲】勘定科目、取引10要素		○	
4	4/24	水	【計算公式】計算問題(基礎簿記・復習)		○	
5	5/7	火	【計算公式】計算問題(3級)①		○	
6	5/8	水	【計算公式】計算問題(3級)②	○		
7	5/14	火	【商品売買の記帳】3分法①		○	
8	5/15	水	【商品売買の記帳】3分法②		○	
9	5/21	火	【商品売買の記帳】3分法③[添削指導]			
10	5/22	水	【商品売買の記帳】商品有高帳(先入先出法)①		○	第2回(6/25)
11	5/28	火	【商品売買の記帳】商品有高帳(先入先出法)②		○	
12	5/29	水	【商品売買の記帳】商品有高帳(先入先出法)③	○		
13	6/4	火	【手形取引の記帳】約束手形①		○	
14	6/11	火	【手形取引の記帳】約束手形②		○	
15	6/12	水	【固定資産の記帳】固定資産の取得・売却			
16	6/18	火	【その他の債権・債務の記帳】		○	
17	6/19	水	【その他の債権・債務の記帳】		○	
18	6/25	火	【その他の債権・債務の記帳】	○		
19	6/26	水	1学期のまとめ[添削指導]			第3回(9/25)
20	6/28	金	1学期期末試験			
21	8/27	火	【その他の債権・債務の記帳】		○	
22	8/28	水	【その他の債権・債務の記帳】		○	
23	9/3	火	【販売費及び一般管理費の記帳】		○	
24	9/4	水	【有価証券とその他の手形取引の記帳】		○	
25	9/17	火	【決算】決算整理①		○	
26	9/18	水	【決算】決算整理②	○		

27	9/24	火	【決算】精算表①		○	
28	9/25	水	【決算】精算表②	○		
29	10/1	火	【決算】精算表③〔添削指導〕			
30	10/8	火	2学期中間試験			
31	10/15	火	【決算】損益計算書と貸借対照表の作成①		○	第4回(10/30)
32	10/16	水	【決算】損益計算書と貸借対照表の作成②		○	
33	10/17	木	【決算】損益計算書と貸借対照表の作成③	○		
34	10/22	火	【仕訳伝票と3伝票制】3伝票制①		○	
35	10/23	水	【仕訳伝票と3伝票制】3伝票制②		○	
36	10/29	火	【仕訳伝票と3伝票制】3伝票制③	○		
37	10/30	水	仕訳の復習		○	
38	11/5	火	計算の復習〔添削指導〕		○	
39	11/6	水	各種帳簿の復習		○	第5回(11/26)
40	11/12	火	決算の復習		○	
41	11/13	水	簿記検定3級範囲のまとめ①		○	
42	11/19	火	簿記検定3級範囲のまとめ②	○		
43	11/20	水	簿記検定3級範囲のまとめ③		○	
44	11/26	火	簿記検定3級範囲のまとめ④	○		
45	11/27	水	2学期のまとめ〔添削指導〕			
46	12/3	火	2学期期末試験			
47	1/9	木	【計算公式】計算公式(2級)		○	第6回(1/22)
48	1/10	金	【計算公式】計算問題(2級)①		○	
49	1/14	火	【計算公式】計算問題(2級)②		○	
50	1/15	水	【計算公式】計算問題(2級)③	○		
51	1/16	木	【仕訳伝票と3伝票制】3伝票の集計と転記①		○	
52	1/21	火	【仕訳伝票と3伝票制】3伝票の集計と転記②		○	
53	1/22	水	【仕訳伝票と3伝票制】3伝票の集計と転記③	○		
54	1/23	木	計算と各種帳簿の復習〔添削指導〕			
55	1/28	火	【商品売買の記帳】商品有高帳(移動平均法)①		○	第7回(2/6)
56	1/29	水	【商品売買の記帳】商品有高帳(移動平均法)②		○	
57	1/30	木	【商品売買の記帳】商品有高帳(移動平均法)③		○	
58	1/31	金	【商品売買の記帳】商品有高帳(移動平均法)④	○		
59	2/4	火	【2級範囲】勘定科目		○	
60	2/5	水	【本支店間の取引】		○	
61	2/6	木	【決算整理】費用・収益の繰り延べと見越し①	○		
62	2/12	水	【決算整理】費用・収益の繰り延べと見越し②〔添削指導〕			
63	2/13	木	【固定資産の売却】		○	第8回(2/26)
64	2/18	火	【剰余金の処分に関する記帳】		○	
65	2/19	水	【剰余金の処分に関する記帳】	○		
66	2/20	木	【電子記録債権および債務に関する記帳】		○	
67	2/25	火	【電子記録債権および債務に関する記帳】	○		
68	2/26	水	【株式会社の税金の記帳】		○	
69	2/27	木	3学期のまとめ〔添削指導〕			
70	2/28	金	学年末試験			

教科	科目		期間	担当者		
商業	情報処理 (2年)	単位数：3単位 [標準単位：6単位]	年間	大塚 昭宏		
指導目標						
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
1. 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。						
2. 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。						
3. 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
スクーリング	全53回	面接指導：12回 講義：32回	教科書	実教出版 情報処理		
レポート	全6回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：1回 3学期：1回	副教材	日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験表計算模擬問題集2・準2級編 情報処理技能検定試験表計算模擬問題集3・4級編		
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス 情報処理の重要性【情報の意義と役割】		○	第1回(5/16)
2	4/18	木	情報処理の重要性【情報のシステム】		○	
3	4/23	火	関数を利用した表の作成【データの力と計算機の役割】		○	
4	4/25	木	【情報の意義と役割】 【情報のシステム】 ウェブテスト①	○		
5	5/7	火	関数を利用した表の作成【データの力と計算機の役割】		○	
6	5/9	木	関数を利用した表の作成【基本的関数1】		○	
7	5/14	火	情報処理の重要性【ビジネスとコンピュータ】		○	
8	5/16	木	情報モラルと法規【情報の価値とモラル】		○	
9	5/21	火	関数を利用した表の作成【算数・比較演算】(添削指導)			第2回(6/25)
10	5/23	木	関数を利用した表の作成【基本的関数1】		○	
11	5/28	火	【ビジネスとコンピュータ】 【情報の価値とモラル】 ウェブテスト②	○		
12	5/30	木	関数を利用した表の作成【基本的関数1】		○	
13	6/4	火	関数を利用した表の作成【基本的関数1】		○	
14	6/11	火	情報モラルと法規【情報の価値とモラル】 個人情報保護】		○	
15	6/13	木	情報モラルと法規【知財の保護】		○	
16	6/18	火	関数を利用した表の作成【基本的関数1】		○	
17	6/20	木	【情報の価値とモラル】 個人情報保護】 知財の保護】 ウェブテスト③	○		
18	6/25	火	関数を利用した表の作成【情報検定3級レベルの応用テスト】	○		
19	6/27	木	情報モラルと法規【著作権の侵害】(添削指導)			第3回(10/17)
20	6/28	金	1学期定期試験			
21	8/27	火	コミュニケーションと情報デザイン【情報デザインの重要性】		○	
22	8/29	木	コミュニケーションと情報デザイン【情報デザインの影響と効果】		○	
23	9/3	火	関数を利用した表の作成【基本的関数2】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
24	9/17	火	【情報デザインの重要性】 【情報デザインの影響と効果】 ウェブテスト④	○		

25	9/19	木	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
26	9/26	木	コンピュータシステムの概要【ハードウェア①】		○	
27	10/1	火	コンピュータシステムの概要【ハードウェア②】		○	
28	10/15	火	コンピュータシステムの概要【ハードウェア③】		○	
29	10/17	木	関数を利用した表の作成【情報検定2級レベル構築テスト】	○		
30	10/22	火	コンピュータシステムの概要【マウス・タッチパネル等の操作】(添削指導)			
31	10/24	木	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
32	10/29	火	【ハードウェア④】 ウェブテスト⑤	○		
33	11/5	火	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
34	11/7	木	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
35	11/12	火	コンピュータシステムの概要【ソフトウェア】		○	第4回(11/26)
36	11/14	木	【ハードウェア⑤ ソフトウェア】 ウェブテスト⑥	○		
37	11/19	火	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
38	11/26	火	関数を利用した表の作成【情報検定4級~2級レベル構築テスト】	○		
39	11/28	木	情報モラルと法規【著作権②】(添削指導)			
40	12/3	火	2学期定期試験			
41	1/9	木	情報通信ネットワークのしくみと構成【情報通信ネットワークの構成】		○	
42	1/14	火	情報通信ネットワークのしくみと構成【ネットワークのしくみ】		○	
43	1/16	木	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	第5回(1/23)
44	1/21	火	【情報通信ネットワークの構成 ネットワークのしくみ】 ウェブテスト⑦	○		
45	1/23	木	情報通信ネットワークのしくみと構成【インターネットのしくみ】		○	
46	1/28	火	情報通信ネットワークのしくみと構成【ドメイン等】(添削指導)			
47	1/30	木	情報通信ネットワークのしくみと構成【セキュリティ管理の重要性】		○	
48	2/4	火	情報通信ネットワークのしくみと構成【セキュリティの管理】		○	
49	2/13	木	【インターネットのしくみ セキュリティ管理の重要性 セキュリティの管理】 ウェブテスト⑧	○		第6回(2/20)
50	2/18	火	関数を利用した表の作成【基本的関数②】 グラフの作成【基本的グラフの作成】		○	
51	2/20	木	関数を利用した表の作成【情報検定4級~2級レベル構築テスト】	○		
52	2/25	火	情報セキュリティの確保【発ボスターを考える】(添削指導)			
53	2/28	金	3学期定期試験			

2024 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教 科		科 目		期間	担当者	
商業		日本語ワープロ(2年)		単位数：2単位 [標準単位：5単位]	年間 遠藤 隆之	
指導目標						
1. パソコン全般に関する幅広い知識と操作技術を習得する。						
2. 文書を読む技術とパソコンの入力技術を意識しながら練習を行い、入力速度の向上を図る。						
3. 情報モラルについて正しい知識を習得すると共に、問題の発見、解決に向けて自分の考えを表現できるようにする。						
4. ビジネス文書の構成に関する知識と作製技術を習得する。						
5. 日本語ワープロ検定と文書デザイン検定を習得する。						
スクーリング	全35回	面接指導：8回 講義：20回	教科書	なし		
レポート	全4回	添削指導：4回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：1回 3学期：1回	副教材	自校作成のプリント		
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	月	ガイダンス		○	第1回(5/31)
2	4/22	月	速度文、通信文(3級)①		○	
3	4/25	木	速度文、通信文(3級)②		○	
4	5/10	金	速度文、通信文(3級)③		○	
5	5/17	金	速度文、通信文(3級)④		○	
6	5/24	金	速度文、通信文(3級)⑤	○		
7	5/31	金	速度文、通信文(準2級)①		○	
8	6/14	金	PCの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り① (添削指導)			第2回(9/20)
9	6/17	月	速度文、通信文(準2級)②		○	
10	6/28	金	期末試験			
11	8/26	月	速度文、通信文(準2級)③	○		
12	9/2	月	速度文、通信文(準2級)④		○	
13	9/5	木	速度文、通信文(準2級)⑤	○		
14	9/13	金	速度文、通信文(2級)①		○	
15	9/20	金	速度文、通信文(2級)②		○	第3回(10/4)
16	9/24	火	PCの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り② (添削指導)			
17	9/27	金	速度文、通信文(2級)③	○		
18	10/4	金	速度文、通信文(2級)④		○	
19	10/15	火	速度文、通信文(2級)⑤	○		
20	10/21	月	速度文、通信文(準1級)、文書デザイン(3級)①		○	
21	11/8	金	速度文、通信文(準1級)、文書デザイン(3級)②		○	
22	11/11	月	速度文、通信文(準1級)、文書デザイン(3級)③		○	第4回(2/17)
23	11/15	金	速度文、通信文(準1級)、文書デザイン(3級)④		○	
24	11/18	月	PCの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り③ (添削指導)			
25	11/29	金	速度文、通信文(準1級)、文書デザイン(3級)⑤	○		

26	12/6	金	期末試験			
27	1/10	金	速度文、通信文 (1 級)、文書デザイン (2 級) ①		○	
28	1/17	金	速度文、通信文 (1 級)、文書デザイン (2 級) ②		○	
29	1/24	金	速度文、通信文 (1 級)、文書デザイン (2 級) ③		○	
30	1/31	金	速度文、通信文 (1 級)、文書デザイン (2 級) ④		○	
31	2/3	月	速度文、通信文 (1 級)、文書デザイン (2 級) ⑤	○		
32	2/14	金	速度文、通信文 (段位)、文書デザイン (1 級) ①		○	
33	2/17	月	速度文、通信文 (段位)、文書デザイン (1 級) ②	○		
34	2/25	火	PCの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り④ (添削指導)			
35	2/28	金	期末試験			